

# 計量管理部会々報

## <平成30年度(一社)千葉県計量協会定時社員総会開催>



### 恵藤会長挨拶

去る6月22日、平成30年度(一社)千葉県計量協会定時社員総会が開催され、盛会のうちに無事終了致しました。

ここにその概要をお知らせ致します。

1.日 時 平成30年6月26日(火)14:30~16:20

2.場 所 ホテルプラザ菜の花

3.構成員 社員総数 334 社員

4.出席者

来賓 千葉県計量検定所次長 曾我部 伸一様

(一社)日本計量振興協会理事

松村 徳治様

出席者 65 社員 委任状 183 社員

(社員数 計 248 社員)

(理事)恵藤敏郎、松崎正道、鶴澤 宏、野口公正

鶴見昭治、時田竹生、岡本美孝、三島 康

小幡昭彦、上原健一、曾根源広、溝口 剛

大野 武

計 10 名

(理事候補者)土屋哲男、井場誠史、齋藤隆宏

矢原昭文

計 4 名

(監事)江波戸俊朗、森本一成(欠席)

計 1 名

(監事候補)高橋芳明、齊藤博之

計 2 名

(事務局)米谷賢徳、鈴木京子

計 2 名

5.事務局より開会を宣言

6.挨拶

### 会長挨拶

只今ご紹介頂きました、会長の恵藤です。本日は大変お忙しい中、千葉県計量協会の総会にご出席を頂きありがとうございます。

本日ご出席の会員の皆様には、平素より当協会の運営にご支援・ご協力を賜り、感謝申し上げます。

又公務ご多忙の中、千葉県計量検定所 曾我部次長並びにご来賓の皆様にご臨席を賜り、厚くお礼申し上げます。

初めに、本日、表彰を受けられました皆様方は、長年にわたり適正な計量関係事業の実施にご尽力され、その顕著な功績に対し敬意を表し、表彰を行ったものであります。今後とも、豊富な知見を活用し、益々計量関係事業の向上にご尽力されますことをお願い申し上げます。

さて、当協会は部会化後3年目に入り、部会化の主要目的でありました職員の社会保険への加入もこの4月に実現した事をご報告致します。

海外へ目を向けますと、今月12日に史上初の米朝首脳会談がシンガポールで開催され、北朝鮮は「非核化への努力」の代わりに金正恩体制の保証を得たようですが非核化への具体的な道筋も示されず、米朝は敵対関係から蜜月関係への急転回であるだけに今後の実務協議がどう進展するかが気になるところです。

又、昨年度の国内の経済情勢は世界的な景気回復を受け総じて緩やかな改善基調となりました。本年度も米中貿易摩擦問題等不透明要因も有りますが引き続き堅調基調を辿ると見る向きが多いようです。

我々計量業界も日本計量機器工業連合会(計工連)の統計によると昨年度の計量機器の生産台数は質量計・流量計など昨年度比+4%となりました。

又、計量業界にとって昨年は大きな変革の年でありました10年振りに開催された計量行政審議会の答申を受け、計量法政省令の見直しが行われ「自動捕捉式はかり・充填用自動はかり・ホッパースケール・コンベアスケール」の4機種を特定計量器へ追加し、検定対象とする事が決まるなど改正は多岐にわたっており環境は著しく変化しております。

このため、当協会としては、広く県民への計量思想の普及啓発、及び計量関係者の資質の向上を図ると共に各種講習会、見学会等を実施してまいりますので、皆様方のより一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、各部会の益々のご発展と、本日まで参加の会員事業所並びに皆様方のご繁栄・ご健勝を祈念申し上げます、挨拶とさせていただきます。

### 来賓祝辞

千葉県計量検定所次長 曾我部 伸一様

ただいまご紹介いただきました、千葉県計量検定所の次長を務めております曾我部でございます。開催にあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。

本日は、一般社団法人千葉県計量協会の平成30年度通常総会がかくも盛大に開催されますこと、謹んでお慶び申し上げます。

会長の恵藤様をはじめ役員の皆様、また会員事業者の皆様には、日頃から本県の計量行政の推進に多大なる御理解と御協力を賜り、この場をお借りしまして厚くお礼申し上げます。

貴協会におかれましては、これまで長年にわたり県民への計量思想の普及 啓発や正確な計量のための計量管理の普及を図る各種事業を実施され、本県における適正な計量の実現に大きく寄与されてこられましたことに、心から感謝申し上げます。

貴協会では28年度から事業者会員制及び部会化に

移行するなど、協会の運営が効率的かつ精力的に行われておりますこと、県といたしましても大変頼もしく感じております。

また、先ほど栄えある会長表彰を受けられました受賞者の皆様、誠におめでとうございます。

皆様のご功績に深く敬意を表しますとともに、心からお祝いを申し上げます。

今回の受賞を契機として、計量業界の発展と計量思想の普及啓発にますます御尽力くださいますようお願い申し上げます。

結びに、一般社団法人千葉県計量協会のますますの御発展、また会員事業者の皆様の今後の御繁栄、さらには本日までご参集の皆様のご健勝を併せて御祈念申し上げます、私の挨拶とさせていただきます。

本日は、誠におめでとうございます。



千葉県計量検定所次長挨拶

### 7.出席者報告

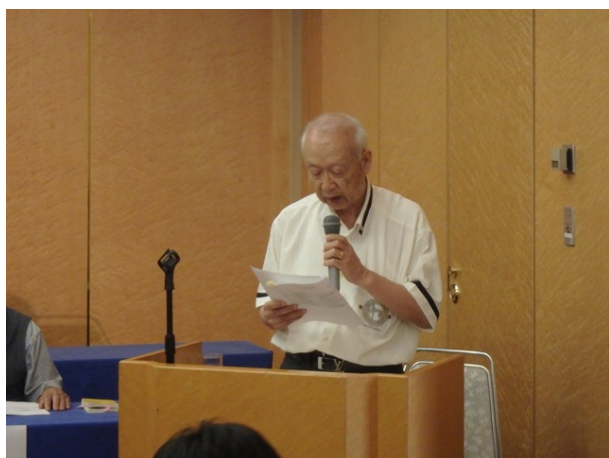
事務局より、社員総数 334 社員 出席 65 社員委任状 183社員合計 248 社員であり、定款第20条に定めた過半数の出席となり、定員数を満たすことにより、総会が成立することが報告された。

### 8.議長選出

定款19条により、議長は、その社員総会において出席した社員の中から選出することになっており、恵藤会長が議長に選出された。

## 9.議事録署名人

定款22条により、議長、鶴見計量士部会長、岡本美孝計量工業会副部会長が議事録署名人に選任された。



事務局からの報告



恙なく議事が進行された

## 10.議事

### 第一号議案 平成29年度事業報告について

事務局より事業報告があり、全員一致を以って異議なく承認された。

### 第二号議案 平成29年度収支決算報告及び監査報告について

事務局より収支決算報告、監事より監査報告があり、全員一致を以って異議なく承認された。

### 第三号議案 平成30年度事業計画(案)及び同年度収支予算(案)について

事務局より事業計画(案)及び同年度収支予算(案)の説明があり、全員一致を以って異議なく承認された。

### 第四号議案 役員の改選(案)について

事務局より、役員の改選期にあたり、理事会で承認された理事・監事候補として

#### 理事

恵藤敏郎、佐藤光央、野口公正、鶴見昭治、時田竹生、岡本美孝、三島 康、安並 淳、小幡昭彦、鶴澤 宏、上原健一、矢原昭文、曾根源広、齋藤隆宏、溝口 剛、大野 武、土屋哲男、井場誠史

#### 監事

高橋芳明 齊藤博之

が紹介され、全員一致を以って異議なく承認された。

## 11.表彰式

総会に先立ち表彰式を行った。

### (1)平成29年度 表彰委員会審査報告

#### ①計量管理優良事業所

平成29年12月に実施した計量管理実施状況調査書を参考に書類選考、現地審査を行った結果、下記の通り決定し、5月10日の全体会議議案集にて承認を受けた。

JNC石油化学(株) 市原製造所 殿  
新日鐵住金(株) 君津製鐵所 殿

#### ②計量管理功労者

事業場推薦及び理事会推薦にもとづき審査を行った結果、下記の通り決定した。

藤原 航 殿 富士石油(株)袖ヶ浦製油所

#### ③優良計量技術者

事業場推薦及び理事会推薦にもとづき審査を行った結果、下記の通り決定した。

小出 勉 殿 KHネオケム(株)千葉工場

上記受賞者に対し会長より表彰状、楯、記念品をそれぞれ贈呈した。



表彰を受けた事業所、功労者、技術者の方々

2)「計量管理強調月間」ポスター・標語入選者の表彰

①ポスターの部

- 特賞 高根 千代 殿 (株)荏原製作所 富津事業所
- 優秀賞 板垣 寿之 殿  
JFEスチール(株)東日本製鉄所(千葉地区)  
大垣 隆 殿 JNC石油化学(株)市原製造所  
矢ヶ崎 彩香 殿 JSR(株)千葉工場

②標語の部

特賞

- ・わずかな誤差も 厳しく管理 信頼積み上げ安心社会  
齋藤 智也 殿 住友化学(株)千葉工場
  - ・量るみんなが責任者 正しい管理で守ろう信頼  
小田部 達哉 殿 出光興産(株)千葉事業所
  - ・小さな誤差と軽視せず 大きく育てる 計量意識  
吉田 愛梨 殿 JNC石油化学(株)市原製造所
  - ・安心与える正しい計量 数字で示す信頼度  
山田 博 殿 富士石油(株)袖ヶ浦製油所
- 優秀賞
- ・信頼を 無くすは一瞬 変えるなデータ  
松井 幸雄 殿 古河電気工業(株)千葉事業所
  - ・きちんと計量しっかり管理 皆で高める確かな信頼  
広瀬 忠一 殿 JFEスチール(株)東日本製鉄所(千葉地区)
  - ・きっちり伝承しっかり管理 技術をつないで適正計量  
中村 慶 殿 住友化学(株)千葉工場
  - ・おかしいと 思ったあなたが責任者  
正しい点検 確かな計量  
佐々木 良平 殿 出光興産(株)千葉事業所

・あせるな 急ぐな 手をぬくな

正しい計量で勝ち取る信頼

宝田 泰司 殿 出光興産(株)千葉事業所

・計量管理は一人ひとりの意識から

みんなで高める確かな信頼

大野 隆司 殿 旭国際テクネイオン(株)京葉事業所

・計量は、全ての管理の出発点。

計量管理で高める信用。

白井 修 殿 JNC石油化学(株)市原製造所

・作業後の5Sで計量器の異常を見逃さずに点検管理

小出 勉 殿 KHネオケム(株)千葉工場

・正しい計測 適正計量 信頼つながる物作り

川田 靖二 殿 (株)荏原製作所 富津事業所

・未来を照らす計量管理 厳しく管理

誤差無し、ミスなし、手抜き無し

加藤 淳史 殿 三井化学(株)市原工場



ポスターの部で表彰を受けたの方々



標語の部で表彰を受けたの方々

## 計量管理優良事業場表彰を受賞して

### 新日鐵住金(株) 君津製鐵所

この度、千葉県計量協会平成30年度通常総会におきまして、当事業所が「計量管理優良事業場」として表彰を賜り、大変光栄に思っております。これも千葉県計量検定所をはじめ、千葉県計量協会および各会員皆様のご指導、ご支援によるものと深く感謝しております。

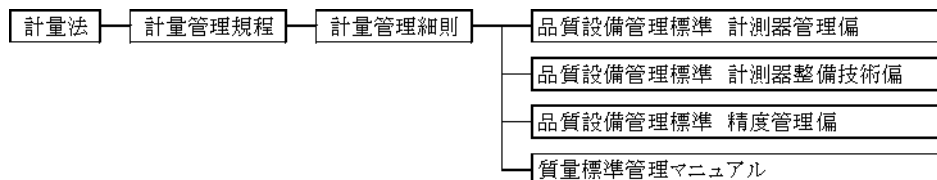
この機会に紙面をお借りして当事業所の計量管理の概要について紹介させていただきます。

#### 1. 当事業所の概要

新日鐵住金(株)君津製鐵所は、1965年の創業以来、国内最大の需要地である関東圏における新日鐵住金の生産拠点として活動しています。東京ドーム約220個分という広大な敷地の中で、原料から各種製品(厚板鋼板、薄板鋼板、線材、形鋼、鋼管)まで一貫して製造・出荷しています。また、これら生産活動で発生する排熱および副生ガスを回収し、発電に利用することでエネルギーリサイクル率92%を達成しています。さらに、製造過程で生じる副産物(スラグ、ダスト、スラッジ)は、社内で原料として再利用するほか、セメント原料や路盤材など社会や他産業で有効活用することで、99%におよぶ高いリサイクル率を達成しています。

当事業所における計量管理は、これらの安定した生産活動を支え、需要家の皆様に安心・安全な鉄鋼製品を提供する為に重要な役割を果たしています。

#### 4. 計量管理規定類



#### 2. 計量管理の概要

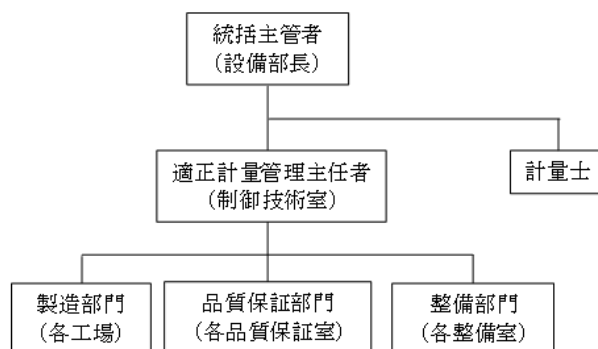
##### <一般計量(測)器>

長さ計	3014台	質量計	764台
温度計	2849台	圧力計	1510台
流量計	2668台	液面計	759台
その他	521台		

##### <分析計>

騒音計	6台	水素イオン濃度計	47台
大気濃度計	27台		

#### 3. 計量管理実施の組織



#### 5. 計量器の検査設備

##### (1) 基準器

1級基準分銅

(2) 標準器

標準巻尺、標準直尺、標準スコヤ、ブロックゲージ、標準熱電対、標準白金測温抵抗体、標準放射温度計、精密級デジタル圧力計、重錘型圧力計、空気式精密重錘圧力計、圧力キャリブレーション、標準電池、標準抵抗、標準周波数カウンター、ユニバーサルキャリブレーション、質量コンパレータ、標準分銅

(3) 検査設備

検度槽、酸素沸点槽、黒体炉、素線用熱電対検定炉、保護管熱電対検定炉、表面温度計検定炉、接触温度計検定装置、定盤、三次元測定装置、キャリパーチェッカー、自動ダイヤルゲージ検査機、ミューチェッカー、圧力計検定装置

6. 計量器及び計装設備の管理状況

(1) 受入検査

購入した計測器はメーカー試験成績書及び抜き取り検査を実施しています。合格した機器には、登録番号シールを貼付し、管理台帳への登録を行っています。

(2) 定期検査

定期検査は機種、用途、重要度により検査周期が異なりますが、精度管理標準書を作成し、それに従った定期検査を実施しています。質量計・分析計は1回/年以上、温度計・流量計は2回/年以上としています。定期検査に合格した場合は、有効期限ラベルを貼付しています。

(3) 日常点検

各工場で使用されている計測器の日常管理は整備担当者が実施しています。

(4) 異常事態発生への対応と臨時検査

使用中の計測器の指示不良、動作不良により計測器に異常が発生した場合、使用職場から整備担当者に電話連絡等がされ、整備担当者は直ちに故障を修理し臨時検査を実施しています。また、修理不可能な場合は使用禁止し、予備計測器と交換し品質・生産に支障ないように処置しています。

7. 量目及び品質の検査

区分	内容	規程・基準類		検査の対象物	検査の実施状況
		有	無		
原料	量目	○		鉱石及び副原料	JIS基準に基づき、吃水又は秤量器で計量しています。
		○		燃料	JIS基準に基づき、吃水又はタンク検尺で計量しています。
	品質	○ ○ ○		鉱石副原料 燃料	JIS基準に基づき、抜き取りにより成分・粒度・水分検査を行っています。
製品	量目	○ ○ ○ ○ ○		銅板 銅管 形鋼 線材 棒鋼	JIS等の基準に基づき、品質保証用計測器により計量しています。
		品質	○ ○ ○ ○ ○		銅板 銅管 形鋼 線材 棒鋼

8. 計量管理に関する改善活動

(1) 検査精度の充実強化の為に、検査作業標準書の見直しを積極的に進めています。

(2) 検査月報を発行し、各工場関係者に配布し計量管理意識向上に努めています。

(3) 現場使用における管理番号ラベルの剥がれ対策として、シール貼付ではなくレーザー刻印化を推進しています。

9. ISO関連取得状況

- ・ ISO 9001 : 1994年取得
- ・ ISO/TS 16949 : 2004年取得
- ・ ISO 14001 : 1997年取得

10. 教育・訓練

対象	内容	
	社内教育について	社外教育について
一般従業員	品質保証用計測器の検査結果を月報にまとめ、使用箇所に配布、取扱に関する指導教育に活用。	
計量管理要員	<OFF.JT> 品質管理活動計画の教育。 新人教育。 社内講習会への参加。 <OJT> 入社3~4年目程度の人を対象に実施。	計量管理実施者講習会への参加。 計量士講習会への参加。
協力事業場	協会の保有する標準器、測定器の精度管理を強化の為、内部監査を実施。	

以上、当事業所における計量管理の概要を紹介させて頂きました。

今後も、今回の受賞を励みに、更なる計量管理活動の継続改善に繋げていきたいと考えております。引き続きご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

## 計量管理優良事業場表彰を受賞して

### JNC石油化学㈱ 市原製造所

この度、千葉県計量協会平成 30 年度通常総会におきまして、当事業所が「計量管理優良事業場」として表彰を賜り、大変光栄に思っております。これも千葉県計量検定所をはじめ、千葉県計量協会、千葉県計量管理部会会員皆様のご指導、ご支援によるものと深く感謝しております。

この機会に紙面をお借りして、当事業所の計量管理の概要について紹介させていただきます。

#### 1. 当事業所の概要

当事業所は JNC の石油化学部門として、1962 年に京葉コンビナートの一角で操業を開始しました。面積約 51 万 m<sup>2</sup> を有し、JNC グループにおける生産及び R&D の主要拠点に位置づけられます。液晶などの高付加価値製品をはじめ、ポリプロピレン・高密度ポリエチレンなどの合成樹脂、アルコール・可塑剤などの各種化成品、リチウムイオン電池用セパレータなどを生産しています。

「安全常に」をモットーに、製造所長以下、従業員全員が一丸となって安全活動に取り組んでいます。

#### 2. 計量管理の概要

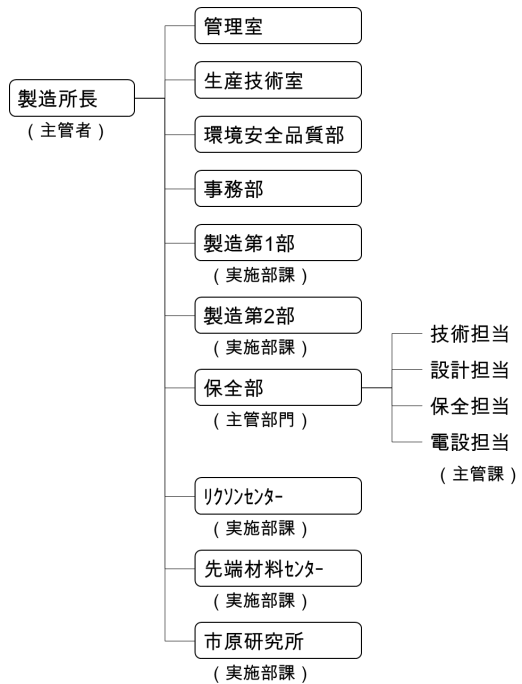
計量器の種類と台数を以下に示します。

##### (1) 計量器の種類と台数

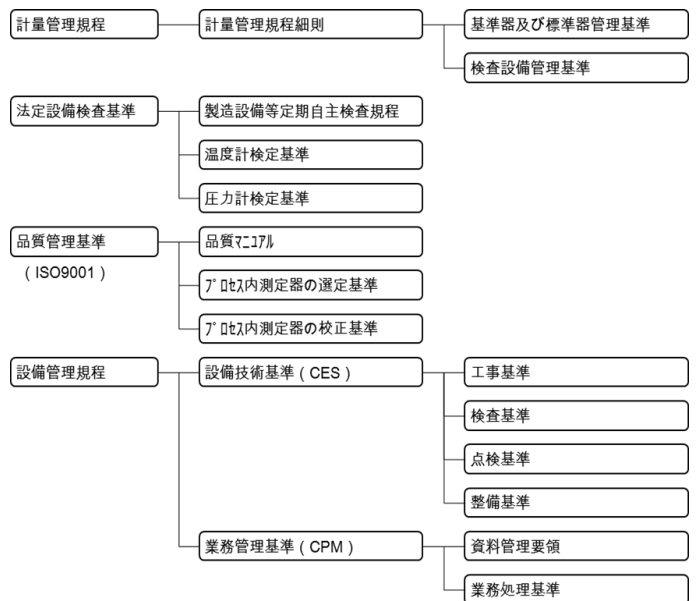
長さ計	0 台	質量計	216 台
温度計	2,045 台	圧力計	2,180 台
体積計	0 台	流量計	2,179 台
液面計	1,225 台	騒音計	2 台
振動レベル計			0 台
ガラス電極式水素イオン濃度計	44 台		
大気濃度計			3 台
その他			51 台

##### (2) 計量管理実施のための組織

下図の体制で計量管理を実施しています。



#### (3) 計量管理の基準



#### (4) 計量器の検査設備

##### ① 基準器

該当なし

##### ② 標準器(社内基準器)

ピストン式重錘圧力計、液柱型圧力計、デジタル指示温度計

## ③ その他の検査設備

鋳鉄製検査用分銅、直流標準電圧発生器、  
直流電圧電流計、交流電圧電流計、力率計、ガルバノメ  
ーター、三相電力計、標準抵抗器、ダイヤル可変抵抗器、標準  
圧力発生器、デジタルマノメーター、光電池式指針型照度計、  
接地抵抗計、ダブルブリッジ、デジタルマルチ温度計

## 3.計量器の管理状況

計量器は保全システムに台帳登録し、機器の仕様、保  
守・点検の周期、整備・検査の履歴等のデータを管理して  
います。

## (1)検査について

## ①受入検査

新規に購入した計量器は、発注仕様書及びメーカー図  
書に基づき、外観・構造・寸法・性能検査を実施していま  
す。また、必要に応じてメーカー製作工場での立会検査を  
実施しています。

## ②定期検査

法対象計器は、関係法規等に定められた所定の周期  
で検査を実施し、その他の計器は、プロセスに対する重要  
度により検査周期を設定し検査を実施しています。  
社内基準器、標準器は、1年に1回の点検(員数、外観)  
及び4年に1回の校正(外部委託)を実施しています。  
はかり装置は、1年に1回の自主検査(外部委託)及び2  
年に1回の法定検査(外部委託)を実施しています。

## ③臨時検査

指示不審、作動不良等により運転部門から依頼があっ  
た場合、原因究明を行い、修理・調整・校正等(外部委  
託)の処置を実施します。

## (2)日常点検

日常点検は、運転部門にて実施します。日常点検の  
項目、合否基準、実施状況等について、1年に1回の監  
査を実施しています。

## 4.量目及び品質の検査

## (1)原料

## ①量目

原料の量目検査は入荷形態により、次のように実施し  
ています。

ローリー :トラックスケールによる量目検査

パイプライン:受入流量計による常時比較

船 :受入流量計による比較

## ②品質

原料の品質検査は入荷形態により、次のように実施して  
います。

ローリー:供給者の分析表及び当方の分析

パイプライン:供給者の分析表にて確認

必要に応じ受入分析を実施

船:供給者の分析表及び受入分析

## (2)製品

## ①量目

製品の量目検査は出荷形態により、次のように実施し  
ています。

ローリー :トラックスケールによる計量

ドラム缶:ドラム充填機により充填し、

取引用台秤により抜取検査

紙袋 :パッカースケールにより充填し、

取引用台秤により抜取検査

## ②品質

製品の品質検査は製品により、次のように実施してい  
ます。

液体製品 :ロット又はタンク単位で製品分析

粉粒体製品:ロット毎に製品分析

## 5.計量管理に関する改善活動

(1)製造設備における測定方式、計器精度、測定点等、  
計装設備の見直しを積極的に行い、省エネ、動作の安定  
化、運転操作の効率化などの改善を図っています。

(2)工事、検査、点検及び整備に関する社内基準・  
規定類の見直しを定期的に行っています。

(3)保全システムの継続的改善とデータ・資料の電子化登録  
を推進し、情報処理の効率化を図っています。

(4)計量管理に限定したものではありませんが、全員参加の改善提案活動を推進しています。

提出強調月間を設け、優秀者や優秀職場を表彰することで活性化を図っています。

#### 6.ISO 関連取得状況

(1)ISO 9001 1996年13月取得

(2)ISO 14001 1999年12月取得

(3)OHSAS18001 2015年12月取得

#### 7.教育・訓練

##### (1)一般従業員

###### ①社内教育

計量管理要員による設備基礎教育

計量管理要員によるオペレータ支援教育

国家資格取得に向けた支援教育

###### ②社外教育

各種協会・団体の通信教育

各種協会、メーカー等のセミナー、講習会

##### (2)計量管理要員

###### ①社内教育

基準・規定類の読合せ

保有測定器等の取扱い教育

テーマ別勉強会・報告会

国家資格取得に向けた支援教育

###### ②社外教育

各種協会・団体の通信教育

各種協会、メーカー等のセミナー、講習会

以上、当事業所における計量管理の概要を紹介させて頂きました。

今回の表彰に恥じぬよう、更なる計量管理活動の推進と継続的改善に取り組んでいきたいと考えています。引き続きご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

## 計量器・計測機器

製造・販売・修理・保守管理  
計量士による代検査・ISO関係検査

計量器・計測機器に関する御用は何でもご照会下さい



ETO  
恵藤計器株式会社

本社・工場

住所 〒261-0002  
千葉県美浜区新港142-3  
電話 043(242)0505(代表)  
FAX 043(243)2519  
e-mail etokeiki@Saturn.plala.or.jp

恵藤計器株式会社は国際MRA対応  
**JCSS認定事業者**に認定されました!

## 《検定所だより》

◎平成30年度人事異動のお知らせ

転出者(( )は新所属等)

所長 山田 満

(防災危機管理部産業保安課 課長)

総務企画課 主査 米倉 光治子

(女性サポートセンター 主査)

総務企画課 上席計量員 中澤 義明

(防災危機管理部産業保安課 主査)

退職者

検定・検査課 上席計量員 伊藤 一男

転入者(( )は旧所属等)

所長 大竹 悦司

(商工労働部産業振興課 副課長)

検定・検査課 主任上席計量員 宮内 千尋

(商工労働部経営支援課 副主幹)

検定・検査課 主任上席計量員 江澤 昌夫

(防災危機管理部産業保安課 副課長)

検定・検査課 上席計量員 泉水 良介

(夷隅地域振興事務所 主査)

総務企画課 計量員 樋爪 紀子

(防災危機管理部消防課 副主査)

内部移動(( )は旧配置・職)

総務企画課 上席計量員 本宮 巧

(検定・検査課 上席計量)

## 《理事会だより》

### 1. 第54次全体会議議案集の承認

第54次全体会議議案集が平成30年5月10日付で配付されました。議案集の附議事項として平成29年度事業報告、同年度収支決算報告及び監査報告、平成30年度事業計画(案)及び同年度収支予算(案)、役員一部選任(案)について各議案が審議され、全57事業所の同意が得られ、承認されました。

2. 今年度の実務担当者が下記の通り決定いたしました。

### (一社)千葉県計量協会 計量管理部会実務担当者名簿 (平成30年度)

氏名	事業場名	事業担当
鶴澤 宏	丸善石油化学(株) 千葉工場	部会長 研修委員長 広報委員
上原 健一	キッコーマン食品(株) 野田工場	第1副部会長 広報委員長
矢原 昭文	三井化学(株) 市原工場	第2副部会長 表彰委員長
村田 剛	三共油化工業(株)	理事 広報委員
伊藤 浩之	恵藤計器(株)	理事 研修委員 (意見交換会、講演会担当)
金子 寛	日本製粉(株) 千葉工場	理事 表彰委員
伊藤 武則	(株)クボタ計装	理事 研修委員 (研修見学会、発表会担当)
平田 哲也	横河ソリューション サービス(株)千葉支店	理事 研修委員 (研修見学会、発表会担当)
井内 裕二	ヒゲタ醤油(株)	理事・監事 研修副委員長 (意見交換会、講演会担当)
吉田 達郎	神東塗料(株) 千葉事業所	理事 研修委員 (意見交換会、講演会担当)
林 敏彦	アズビル(株) 千葉営業所	理事 研修委員 (研修見学会、発表会担当)
太田 敏彦	東京計装(株)	理事 研修委員 (意見交換会、講演会担当)
廣田 怜	ヤマサ醤油(株)	理事 研修委員 (研修見学会、発表会担当)
森 美喜雄	JSR(株) 千葉工場	理事 広報委員

### 3. 発表会・研修見学会の開催

日 時 平成30年9月27日(木)

見学先 (1) 新日鐵住金株式会社 君津製鐵所  
(2) エム・エム・プラスチック株式会社  
富津プラスチック資源化工場

発表事業場 『計量管理の概要について』

(1) JNC石油化学(株) 市原製造所  
(2) 新日鐵住金(株) 君津製鐵所

会 場 新日鐵住金株式会社  
君津製鐵所

### 4. 意見交換会の開催

日 時 平成30年11月8日(木)

13:10～17:00

(13:00 から受付)

場 所 千葉県消費生活センター  
(千葉県暮らしのプラザ)  
3階 研修講義室  
千葉市中央区弁天一丁目25番1号

### 5. 研修見学会

日 時 平成30年2月13・14日

(予定)

### 6. その他

本会報とは別に第54次全体会議議案集を計量管理部  
会 HP に掲載しています。是非ご一読ください。

HP アドレス <http://www.chiba-keiryokanri.org/>

# キャリブレーション・サービス

計測設備の検出端から表示装置までを含めた計量管理対象機器をISO9000s、医薬品GMP、HACCPなどの要求事項に適合した形でトータルソリューションサービスをご提供いたします。

お客さまとご相談の上、適切な実施計画をたてプロセスに最適な効率のよい計量管理をご提案致します。

## 実施提案

## 計量管理

キャリブレーションの結果から周期の管理や見直し、精度管理、さらにはデータの電子化にも対応いたします。

## 書類の準備

計量管理全般の基準を反映させ、個別の手順書を文書化していきます。勿論、お客様のフォームにあわせた形で提出可能です。

## トレーサビリティ

キャリブレーション作業に用いた計測器（標準器）はすべて国家標準にトレーサブル。各種証明書、成績書は即時発行可能です。

## キャリブレーション作業

作成された手順書に従いキャリブレーション作業を実施いたします。

### 実施提案

管理対象抽出  
精度設定  
周期設定  
計量管理方法設定

### 書類の準備

管理機器リスト  
計量管理要領  
校正手順書  
校正計画書  
記録書フォーム

### キャリブレーション作業

温度計校正  
圧力計校正  
その他の校正  
記録書発行  
ラベル発行

### 計量管理

周期管理  
周期の見直し  
精度管理  
来歴管理

### 提出書類

一般計測器成績書  
トレーサビリティ証明書  
トレーサビリティ体系図  
上位標準器成績書

キャリブレーションサービスでは、お客さまの立場に立ち、製品品質を維持するために何を管理対象にするか、どのくらいの校正精度、校正周期が必要か、などといった問題を解決し、対象機器のリストアップから手順書作成、校正作業、データの分析、有効期限管理、さらに校正手法、校正周期の見直しに至るまで、計量管理の全てを実現、最適な計量管理を達成いたします。

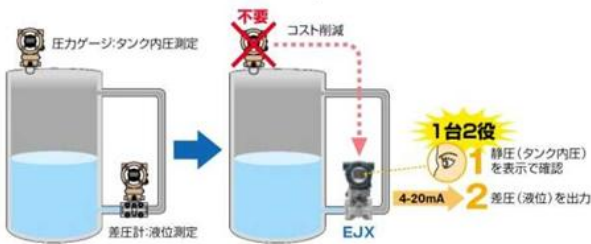
YOKOGAWA ◆

ご存知ですか?  
デジタル・センシングの力!

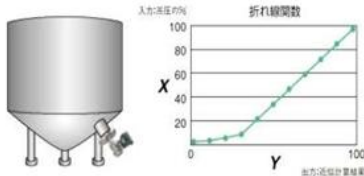
DPharpシリーズの大きな特長である「シリコンレゾナントセンサ」は、ヒステリシスが非常に小さいことで知られる単結晶シリコンのチップに、マイクロマシニング技術で2つの振動子を埋め込んだ、再現性・長期安定性に優れたセンサです。発売以来200万台以上の販売実績を持ち、世界のお客様より高い評価をうけています。



DPharp EJX™

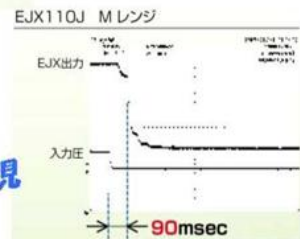


差圧/静圧を1台で  
マルチセンシング



折れ線近似出力機能で  
異形タンク等ノンリニア特性にも対応

世界最高水準の  
高速応答を実現



新 Asset Excellence  
を実現する

フィールド機器設定/情報管理ソフトウェア

**FieldMate™**

Versatile Device Management Wizard

総合代理店

横河電機株式会社  
■本社 〒180-8750 東京都武蔵野市中町 2-9-32  
国内プロダクト営業1部 TEL: 0422-52-6490

横河商事株式会社  
■千葉支店 〒299-0111 千葉県市原市姉崎 541 小池ビル4階  
TEL: 0436-61-4310

横河ソリューションサービス株式会社  
■千葉支店 〒299-0111 千葉県市原市姉崎 727-3  
TEL: 0436-61-1388  
2015年10月より  
■千葉支店 〒299-0111 千葉県市原市姉崎 867

東京電機産業株式会社  
■千葉支店 〒260-0825 千葉県千葉市中央区村田町 1211  
TEL: 043-300-8611

■銚子営業所 〒288-0817 千葉県銚子市清川町 11-4-12  
TEL: 0479-23-338



よろこびを化学する

**JNC 石油化学株式会社市原製造所** <https://www.jnc-corp.co.jp/>  
〒290-8551 千葉県市原市五井海岸 5-1 TEL 0436-21-5111



